

“人と地域を創る新見公立大学 NiU”

2019年4月 新見公立大学が生まれ変わります

文部科学省に申請していました新しい教職課程の設置、看護学科の定員増（60人から80人）、訪問看護・地域看護コース（全国初）の開設、地域福祉学科の社会福祉士養成課程が認可され、2019年4月より計画どおりに健康科学部1学部3学科体制がスタートします。

新見市では、人口減少が最重要課題となっている中、小規模多機能自治による地域づくりと大学を活かしたまちづくりを2つの柱として、人と地域が元気なまちを目指し「新見市版（池田市長）地域共生社会」の構築に取り組んでおります。



（池田市長）

中でも大学を活かしたまちづくりは、その課題克服の切り札であると考えており、今後、完全四大化となり学生数が増えることによる経済効果はもとより、大学により中山間地域の抱える課題が研究され、その成果が今後の本市施策に反映できるものと大変期待しております。本市全域をキャンパスとして活用し、将来を担う多くの優秀な人材が育成されるものと考えております。

新見公立大学・短期大学は「誠実、夢、人間愛」を建学の精神として、38年間地域に支えられて発展してきました。



（公文学長）

本年4月より「人と地域を創る新見公立大学」健康科学部1学部3学科（看護、健康保育、地域福祉）に改組します。日本の典型的中山間地域にある唯一の公立大学として、その役割を検証しつつ、専門職としての知識、技能の修得と人間力を磨く学びのスタイルを深化させていく計画です。健康科学の目標は、「全ての世代の心と体の健康を支援すること」であり、その基盤となる「人に優しい地域共生社会の実現」に向けて、地域行政とともに知恵を絞りながら歩んでいきたいと思っています。



【新しい教職課程】

- ・看護学科 養護教諭一種
- ・健康保育学科 特別支援学校教諭一種
- 幼稚園教諭一種

【新しい教育コースと養成課程】

- ・看護学科 訪問看護・地域看護コース
- ・地域福祉学科 社会福祉士養成課程

1 新しい健康科学部の全体像

本学は、日本の典型的中山間地域にある公立大学の使命として、中山間地域における地域共生社会の構築に求められる各学科の役割と多職種連携を実践的に研究、教育していきます。



新見市は少子・高齢化と人口減少に関わる諸々の課題に直面しています。この課題先進地域にある地の利を生かし、

『健やかな子どもの発達、心の豊かさの向上、高齢者の健康寿命の延伸』を目標として、3学科が協働して地域共生社会の実現をめざす保育、看護、介護、福祉のスペシャリスト養成と「地域を拓く健康科学」の体系化を目指していきます。

2 新しい健康科学部の特色と変更の要点

(1) 看護学科 “心と体の健康を支える看護専門職”の育成

- ・定員：80人（20人の増員）
- ・養護教諭養成課程（定員10人）の新設
- ・訪問看護・地域看護コース（全国初、定員5人）の新設、防災士の取得
- ・推薦入試枠での地域優先選抜枠の拡充（新見市枠5人、岡山県枠5人）

(2) 健康保育学科 “就学前教育・保育のリーダー”の育成

- ・定員：50人
- ・発達障がい児の支援と病児保育の学修、防災士の取得
- ・幼稚園教諭一種、特別支援学校教諭一種養成課程の設置
- ・推薦入試枠での地域優先枠の設置（新見市枠5人）
- ・新見公立大学教育支援センターの設立（地域ぐるみで支えあう保育の実践）

(3) 地域福祉学科 “21世紀型スーパー地域福祉人材”の育成

- ・定員：50人
- ・社会福祉士と介護福祉士をはじめとする複数の資格取得課程の設置
- ・専門性重視の副専攻カリキュラム（共生社会推進士、地域介護専門士）の設置、防災士の取得
- ・推薦入試枠での地域優先選抜枠の拡充（新見市枠5人、岡山県境枠5人）
- ・キャリア支援センターの設置：各種資格試験対策、地方自治体等の一般行政職等への就職支援

